一般社団法人
教育システム情報学会

Japanese Society for
Information and Systems in Education

ニューズ・レター No.218

JSiSE
発行日 2019年1月31日
発行所
一般社団法人
教育システム情報学会
発行者 仲林 清
〒162-0801
東京都新宿区山吹町358番地5
アカデミーセンター
URL http://www.jsise.org
E-MAIL secretariat@jsise.org

●○●○●○●○●○●○●≪ も く じ ≫●○●○●○●○●○●

第44回全国大会案内・・・・・・・・・・・・2
第44回全国大会
企画セッションテーマ募集・・・・・・3
第6回研究会開催案内・・・・・・・・・・・・6
特集論文研究会開催案内・・・・・・・・・・8
北信越支部主催ワークショップの
お知らせ・・・・・10
関東支部「リサーチ・コ・コ・コモンズ」
開催のご案内・・・・・・11
第5回研究会開催報告・・・・・・・・・・12
学生研究発表会募集のお知らせ・・・・14
学会誌特集号論文募集・・・・・・・・・15
研究会報告年間購読の申し込み・・・・・17
本学会研究会における
不適切な質問等への対応について・・・18
支部活動報告・・・・・・・・・・・・・19
学会 Twitter，Facebook のご案内・・・20
他団体協賛・後援のお知らせ・・・・・・21
会費納入のお願い・・・・・・・・・・・・22
事務局より・・・・・・・・・・・・・・・24
会員専用ページの案内，
学会誌・研究報告バックナンバーのご案内，
新入会員のご紹介，
入会のご案内

●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●

2019 年度 JSiSE 全国大会(第 44 回)のご案内

担当者：　全国大会委員会

2019 年度全国大会のテーマ・開催日・開催場所の予定が決まりました。

テ ー マ：	知の共有支援技術で支えるレジリエントな学び
開 催 日：	2019 年 9 月 11 日（水）～9 月 13 日（金）
開催場所：	静岡大学 浜松キャンパス
	https://www.shizuoka.ac.jp/

是非ご参加ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観

キャンパス正門の風景（左）と会場の情報学部棟（右）

■ アクセス

http://www.inf.shizuoka.ac.jp/access/

・ 浜松駅より　　路線 40-48 番のバスで「静岡大学」下車

　バスターミナル：15 番　　バスで 20 分

　　16 番

第 44 回（2019 年度）教育システム情報学会全国大会
企画セッション テーマ募集のご案内

担当者：　全国大会委員会
委員長　小松川 浩

企画セッションは参加者にとって関心が高く，より詳細な研究テーマに焦点をあてたセッションです．以下のようにテーマを公募いたします．奮ってご応募ください．テーマが採用された方はオーガナイザになっていただき，発表募集の広報やプログラム作成，セッションの実施を行っていただきます．なお，お申し込みいただいた内容にしたがって全国大会委員会プログラム部会で審査をし，採否を決定させていただきますので，ご了承ください．

企画セッションの講演原稿のフォーマット，投稿方法，セッションのあたりの発表数，講演時間等は一般セッションと同じです．ただし，オーガナイザの裁量で 1 スロットにつき講演 1 件分を議論の時間にあてることができます．セッションの時間帯やスロット数は，大会プログラム作成時に全国大会委員会大会プログラム部会にて講演申込み数や全国大会全体の構成に応じて決定いたします．講演申込みは大会 Web の講演申込みサイトより，一般から公募いたします．また，企画セッションでの発表も大会奨励賞の対象となります．

企画セッションのテーマは一般セッションよりも特化したテーマに焦点があてられていることが望まれます．テーマご提案の際には，一般セッション講演募集用のカテゴリ表を参考にしてください．

■オーガナイザにご担当いただく事項

- 発表募集の広報（企画セッションの概要は全国大会 Web ページに掲載されます）
- 企画セッションのプログラム（発表順）の決定
  発表申し込み数によっては，一部の発表を一般セッションに移動する必要が生じます．
  その際，オーガナイザには一般セッションに移動する発表を決定していただきます．
- 座長の選定
  原則としてオーガナイザが座長をご担当ください．セッションが複数になった場合は，各セッションの座長を異なるオーガナイザで担当していただきます．
- 当日のセッション運営

■お申し込み方法

以下の項目をご記入の上，全国大会委員会プログラム部会（jsise-taikai-pc@jsise.org）宛まで電子メールにてお申し込みください．

※送信後に投稿が保留された旨のメールが自動的に届きます．それとは別に後日受付の連絡をさせていただきますので，お待ちください．

- テーマ（企画セッション名）
- 概要（400 文字程度）
- テーマが該当するカテゴリ，分野（カテゴリ表より選択，多くて 2～3 個を目安としてください）
- テーマが該当するキーワード（カテゴリ表中のキーワード）

- テーマ独自のキーワード
- オーガナイザ全員の氏名と所属，代表者の連絡先（電子メールアドレスなど）
  ※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります.

■申込期限

2019 年 2 月 22 日（金）（2019 年 3 月 1 日（金）までに採録結果を通知いたします）

議論観点	カテゴリ	分野名 （発表時にはここだけ選択してもらいます プログラム編成においてセッション名として使います）	キーワード （分野選択時の参考にしてください． ただし，各分野の発表はこれらに限るものではありません）
支援対象	設計	授業設計・インストラクショナルデザイン	授業研究，学習理論，教育方法，カリキュラム・デザイン，授業評価，授業実践，シラバス，研修設計
		学習環境デザイン	デザイン研究，学習科学
	教育・学習手法	遠隔教育	通信教育，国際交流，交流学習，異文化交流
		ブレンディッド学習	反転授業，eラーニング授業利用
		連携型教育	小中連携，中高連携，高大連携，大学間連携，科目間連携，地域連携，産学連携
		協調学習	コミュニティ支援，コミュニケーション支援，グループ学習，ディスカッション支援
		アクティブラーニング	作問学習，PBL，クリッカー，アイデアソン，ハッカソン，ルーブリック，サービスラーニング，テキストコミュニケーション，社会人基礎力，反転授業，体験学習
	分析・評価	学習者特性・行動分析	ポートフォリオ，アフェクティブラーニング，質的分析，学習履歴分析，レディネス，生体情報，レスポンス分析，教学インスティテューショナル・リサーチ(IR)，質問行動
		学習評価・アセスメント	リフレクション，ルーブリック，テスト理論，質的評価，適応型テスト，数理モデル，ピアアセスメント，グループワーク評価，パフォーマンス評価，項目反応理論，所見による評価
	対象別教育	HRD・生涯学習	リカレント教育，社会人教育，企業内教育/研修，異文化理解
		高等教育	キャリア教育，質保証，リメディアル，初年次教育，ファカルティ・ディベロプメント(FD)，研究活動支援，ティーチングポートフォリオ，チュートトレーニング，教養教育，教職課程
		初等中等教育	言語活動，教科指導，授業実践，教師教育，情報モラル，一人一台タブレット環境
	領域別教育	プログラミング教育	アルゴリズム理解，ビジュアルプログラミング，プログラミング言語教育，オブジェクト指向教育，ロボットプログラミング，WebAPI
		情報技術教育	ネットワーク教育，データベース教育，組み込みシステム教育，モデリング教育，システム要件定義，技術者倫理教育，ソフトウェア開発教育，IoT
		語学教育	日本語学習，外国語学習，聴解学習，発話学習，作文教育，読解教育，語彙・単語学習，文法教育，エッセイライティング，例文検索
		教科教育	教科情報，数学，国語，理科，社会，音楽，美術，技術・家庭科
		特別支援教育	インクルーシブ教育，LD，ADHD，発達障害，院内学級，身体障害，知的障害者，視覚障害，言語障害
		スキル学習	身体知，経験知，学習スキル，メタ認知，問題解決支援，批判的思考，自己調整学習
		医療・看護・福祉教育	カウンセリング，ボランティア，介護，理学療法，保育，作業療法，スポーツ医学
		情報リテラシー	プレゼンテーション支援，コンピュータ操作，情報倫理，セキュリティ，情報モラル，情報スキル，クラウドサービス活用
技術	ICT活用	マルチメディア活用	映像・音声配信／収録／活用，電子教科書，電子黒板，プレゼンテーションドキュメント
		ソーシャルメディア活用	ソーシャルブックマーク，SNS，BLOG，マイクロBLOG，チャット
		デバイス活用	モバイル，タブレット，ユビキタス，ウェアラブル，ヒューマノイドロボット，IoT
		プラットフォーム活用	LMS，eポートフォリオ，CMS，テレビ会議システム，コンテンツ共有
	技術開発・運用	プラットフォーム開発	LMS，CMS，プラグイン，CSCL，eポートフォリオ，eテスティング，API，データフォーマット，デバイス，テレビ会議システム，クラウド利用
		インフラストラクチャ	認証，ネットワーク構築，センサネットワーク，クラウド，セキュリティ，システム連携，仮想化，データ運用管理，教材データベース，BYOD
		コンテンツ作成支援	コンテンツ・オーサリング，カリキュラム・オーサリング，コンテンツ自動生成，SCORM，LOM，問題作成支援
	先進的学習支援技術	先進的学習支援	アフェクティブコンピューティング，エージェント，機械学習，情報検索，適応的支援，ナビゲーション支援，リフレクション支援，情報推薦，ゲーミフィケーション，外在化支援，抽象化支援，知識マップ
		分析技術	テスト理論，データマイニング，ラーニングアナリティクス，ビッグデータ
		モデリング技術	メタ認知，学習科学，学習者モデル，認知ツール，数理モデル，ドメインモデリング
		ユーザインタフェース	仮想現実(VR)，拡張現実(AR)，HCI，視線入力，ヘッドマウントディスプレイ(HMD)，ジェスチャ入力，3D，可視化，センサーデバイス，音声入力，シミュレーション，マイクロワールド，擬人化技術，アウェアネス，テレイグジスタンス，力覚情報，ヒューマノイドロボット
その他	その他	その他	

第 6 回研究会開催案内

担当者：　西野和典（九州工業大学），西端律子（畿央大学），鷹岡亮（山口大学），
浅羽修丈（北九州市立大学），山本樹（創価大学），
永田奈央美（静岡産業大学），長谷川理（武蔵野大学）

■ テーマ：プログラミング教育と情報の科学的理解

■ 開催日時：2019 年 3 月 16 日（土）

■ 会場：武蔵野大学 有明キャンパス 1 号館，3 号館
（〒135-8181　東京都江東区有明三丁目３番３号）
https://www.musashino-u.ac.jp/ariake/

■ 趣旨：

2018 年 3 月に高等学校学習指導要領が公示されました．これで小学校・中学校・高等学校すべての次期学習指導要領が公示されました．高等学校の次期学習指導要領は 2022 年度から年次進行により段階的に適用されます．現行の学習指導要領においては，高等学校情報科について，生徒の卒業後の進路等を問わず，「情報の科学的な理解」に裏打ちされた情報活用能力を育むことが一層重要との課題があげられました．「情報の科学的な理解」は，「情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と，情報を適切に扱い自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解」と定義しています．これは単に情報手段の種類，仕組みや特性を理解することにとどまらず，それらの知識に裏打ちされたうえで情報手段を適切に活用しながら情報活用を実践していくことを含んでいます．次期学習指導要領のもとで，小学校ではプログラミング的思考を育み，中学校ではネットワークを利用した双方向性のあるプログラミングについて学びます．そのうえで高等学校では，情報教育の一つの観点として基盤になる「情報の科学的理解」とプログラミング教育をどのように関連付け授業をデザインしていくのか．さらには，授業デザインだけでなく学習方法，教材開発，小中高の接続性などの議論が活発化することが予想されます．

そこで 2018 年度の第 6 回研究会は，上記についての研究や議論を深めるため，「プログラミング教育と情報の科学的理解」に関連する研究発表を中心に実施します．また，教育の情報化に関連した研究発表や本学会の取り扱う領域における一般研究発表も予定しておりますので，多くの皆様からのご参加をお待ちしております．

■ 当日のプログラムは，決まり次第下記 URL で公開します．
http://www.jsise.org/society/committee/2018/CFP_6th.html

■ 原稿提出締切：2019 年 2 月 7 日（木）

■ 原稿提出は，下記 URL よりお願いします．
http://www.jsise.org/society/committee/2018/CFP_6th.html

注）研究会予稿集電子化に伴い，「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました．以下のページをご確認ください．
研究会執筆要領：http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf
研究会報告見本：http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf
研究会報告ひな形：http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx
オンライン講演申込・原稿投稿方法：http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf

■ 発表時間は 1 件 25 分（発表 18 分，質疑 7 分）です．

■ 参加費等：
研究会への参加は無料です．研究報告（講演論文集）は，1,000 円で当日購入できます．研究報告は電子化されており，インターネット経由でダウンロードするか，受付に準備する USB メモリからコピーしていただきます．詳しくは以下のページをご覧ください．
http://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html

■ 研究会および懇親会の参加登録：
研究会当日のご参加も受け付けておりますが，当日の円滑な受付のため，事前の参加登録のご協力をお願いしております．研究会への参加を予定されている方は，【3 月 9 日(土)】までに，下記の Web ページにお名前やご所属等の情報を入力してご登録下さい．
なお，特集論文研究会と合同で，武蔵野大学の最寄り駅付近で懇親会（先着 30 名，5,000 円程度）を予定しております．懇親会の参加希望も【3 月 9 日(土)】までに下記 Web ページにご登録下さい．研究発表の申込をされた方も，懇親会の参加を希望される場合は，下記 Web ページでご登録下さい．
https://goo.gl/forms/UC28y7t5UwZljPXf2

■ お問い合わせ先：武蔵野大学 長谷川理（第 6 回研究会担当委員）
E-mail ： osamu_at_ds.musashino-u.ac.jp（「_at_」は，半角の「@」に変更してください）

特集論文研究会の開催案内

担当者：　学会誌編集委員会委員長 小西 達裕（静岡大学）

■テーマ：　人工知能，IoT がもたらす新たな学習・教育・管理の促進
■開催日時：　2019 年 3 月 16 日（土）
■会場：　武蔵野大学 有明キャンパス 1 号館，3 号館
〒135-8181　東京都江東区有明三丁目３番３号
https://www.musashino-u.ac.jp/ariake/
■主旨：

※本研究会は，論文特集との連動企画です.

人工知能や IoT の新しい技術は，社会の様々な分野で革新をもたらしつつあります。人の膨大な量の学習記録から機械的に特徴を見い出すことで，これまでの常識を超える知見を提示しています。また，ネットワークに接続するデバイスの活用は，これまでには実現できなかった新しいサービスを創出しています。こうした社会への大きなインパクトは，教育システム情報学の領域においても，これまでにない発想による新し学び方，新しい教え方，新しい教育の管理をもたらすと期待を集めています。本研究会は，「人工知能，IoT がもたらす新たな学習・教育・管理の促進」に関する研究発表を募り，新しい教育システム情報学の知識構築を目指します。

学会誌特集論文の案内：　http://www.jsise.org/journal/cfp2019_offer.html

■発表申込締切：　締め切りました。
■原稿提出締切：　2019 年 2 月 7 日（木）
原稿の執筆・投稿にあたっては，以下のページをご確認ください.
・執筆要領：　http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf
・報告見本：　http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf
・報告ひな形：　http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx
・オンライン原稿投稿：http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf

■参加登録：
2019 年 3 月 9 日までに，下記 URL より，事前にご記入ください。

https://goo.gl/forms/gPlcYmJeooA0ljTD3

研究会当日のご参加も受け付けております。

■研究報告集と登壇者の報告書購入について

年間購読をお申し込み頂いている会員の方は，研究会開催日の約 1 週間前から会員専用マイページで公開されます．非会員の方や，年間購読を申し込まれていない方は，当日，受付で予稿集代(1,000 円)をお支払いただき，ダウンロード用パスワードをお受け取り下さい．当日購入者でインターネット接続ができない場合，USB メモリーからコピーをしていただくこともできます．

研究会への参加費は無料となっておりますが，登壇者の方で研究報告の年間購読をされていない方には，当日分のオンライン研告集の購入（1,000 円）をお願いしております．詳しくは，
研究会参加に関してよくあるご質問（FAQ）http://www.jsise.org/society/faq.html をご覧下さい．

・年間購読(4,000 円)をお申し込みいただくと，年 6 回の定例研究会と 1 回の特集研究会の計 7 回分の研究報告を読むことができます．申込方法等の詳細は，こちらをご覧ください．
http://www.jsise.org/utility/information/20160222.html

■お問い合わせ

担当委員：松田憲幸（編集委員会）E-mail: matsuda@sys.wakayama-u.ac.jp
(「@」の部分は，半角の「@」に変えて下さい)

★★多くの方のご参加を心よりお待ちしております！★★

北信越支部主催ワークショップ「成果発表を磨く」募集・開催のお知らせ

担当者：　長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学）

北信越支部では，広く教育工学，教育システム情報学を研究する学生・若手研究者の自己研鑽を支援するため，【成果発表を磨く】というワークショップを開催しています。

内容は，論文執筆を目標とした研究のまとめ方に関する講演とともに，学位取得を目指す博士生や論文投稿を目指している修士生による研究発表と，論文執筆と目標とした議論です。過去の 3 回のワークショップでは参加者より，多くのコメントもいただきました。これらの様子は，北信越支部の Web サイトや Facebook にてご覧いただけます。また，数多くのコメントをいただいた博士課程学生の皆さんは論文採録 2 本，国際コンペ表彰 1 名，学位取得 4 名など，それぞれに成果をあげています。

本年度は以下の内容にて開催します。なお，本ワークショップは，昨年度より，全国の学生会員もしくは会員の皆様が指導されている学生を対象としたワークショップとなっています。

「成果発表を磨く」実践的な機会であり，研究に対する多くの有益なコメントをいただける機会です。翌日 5 日（火）には学生研究発表会もありますので，学生の皆さんはこれらと合わせて是非ご参加ください。

○北信越支部ワークショップ【成果発表を磨く】

開催日時：2019 年 3 月 4 日（月）午後

開催場所：しいのき迎賓館（石川県金沢市）

話題提供・討論概要：

申込者には，1 件あたり 50 分の時間が与えられます。

与えられた時間の中で話題提供と討論をしてください。

事前に予稿等の原稿提出は不要です。当日の資料配付等は可とします。

対　　象：博士後期課程学生もしくは博士前期課程で論文投稿を目指す者

JSiSE 学生会員または JSiSE 会員に指導を受ける者

申込方法・〆切：2 月 8 日（金）　※定員になり次第締め切ります。

申込み・お問い合わせ先：長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学）hse-submit@jsise.org

※ 話題提供のタイトル，氏名，連絡先，指導教員の氏名をお知らせください。

北信越支部 Web サイト：http://www.jsise.org/~hse/

北信越支部 Facebook　：https://www.facebook.com/jsisehse

産学実連携による新しい学びの共創のためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」開催のご案内（関東支部）

教育システム情報学会 関東支部では、産業・学術・実践の 3 分野の交流を促進し、「産・学・実」の連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を開催いたします。

教育システムに関連する企業の皆さま、研究者の皆さま、学校・塾など教育現場の先生方や企業で研修・人材育成を担当されている方々などに、出展者・参加者としてご参加いただき、それぞれの立場での開発・研究・実践における裏話、本音トーク、悲痛な叫び（？）などを交えて、最新の教育システムに関する研究開発の状況や、実践における活用事例などに関する情報交換を行う場となるイベントです。

■開催日時・場所

2019 年 3 月 2 日（土）13 時～17 時【予定】

早稲田大学早稲田キャンパス 3 号館 203（CTLT Classroom3）

■当日の流れ（予定）

当日は出展者によるポスター展示を行うとともに、以下のような流れで出展者・参加者に情報交換・議論を行っていただきます。**出展者を入れ替え、2 ラウンド実施します**。

(1) 出展者によるライトニングトーク（各 5 分）
(2) 出展者・参加者によるディスカッション(1)　(20 分)
(3) 参加者による出展ブース観覧（45 分）
(4) 出展者・参加者によるディスカッション(2)　(20 分)
(5) まとめ（10 分）

■参加者の方へ

事前のお申し込みは不要です。当日、会場まで直接お越しください。

ご自身の開発・研究・実践におけるお悩みなどを、ディスカッションの場でご披露いただけると、解決の糸口が見つかるかもしれません。ぜひご用意ください。

■出展者の方へ

教育現場に活用可能なシステムを開発している、あるいは開発を検討している企業や研究者の皆さまにご出展いただくことができます。

出展をご希望される方は、2019 年 2 月 15 日(金)までに下記お問い合わせ先までご連絡ください。

主催：教育システム情報学会 関東支部
お問い合わせ先：jsise-kanto-sub@jsise.org

第 5 回研究会開催報告

担当者：　佐々木整（拓殖大学），三石大（東北大学），光原弘幸（徳島大学），
高木正則（岩手県立大学），鷹野孝典（神奈川工科大学）

■テーマ：新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般

■開催日：2019 年 1 月 12 日（土）

■開催会場：コラッセふくしま

■概要：

2019 年 1 月 12 日，コラッセふくしまを会場に第 5 回研究会を開催いたしました．新年早々の開催ではありましたが好天にも恵まれ，全国から 50 名の参加者が集まりました．発表件数の関係で 2 会場に分かれての開催となり，「実世界指向教育」，「学習支援環境」，「授業設計」，「プログラミング教育」を中心とした 4 つのセッションでの実施となりました．モーションキャプチャ，AR・VR 等の各種技術を活用した学習環境構築や教育実践の報告や，スマートディバイス等を活用した教材・システム開発等の報告，スマートディバイスを活用することで収集された教育情報の分析とその活用，各種ディバイスやパターンマッチング技術を応用したプログラミング教育等々，合計 22 件の幅広い研究発表があり，各会場とも活発に質疑応答が行われました．

また，研究会終了後に開催された懇親会では 20 名の参加があり，鍋を囲みながら楽しく研究者間交流を深めることができました．

なお，第 5 回研究会で発表されたタイトルは，以下の通りです．

- 肢体不自由者のための Kinect V2 センサーを用いた自立活動支援アプリケーションの開発
- タブレット PC を用いた肢体不自由者の入力操作測定用アプリケーション―改良とコンテンツ開発―
- AR とスマートフォン HMD を用いた災害疑似体験システムとその予備実験
- 小学校における防犯・防災・交通安全教育支援アプリケーションの UI 改良
- 小学校における防犯・防災・交通安全教育支援アプリケーション -利便性向上のための機能改良-
- 子どもの動作からの関心推定に向けたセンシングシステムの開発
- 認知機能の評価及び維持・促進を目的とした Android アプリケーションの開発 －服薬支援の実装－
- スマートフォンでの入力に配慮した反転学習用ランダム問題の開発
- ブレンド型初修外国語授業における復習状況の視覚的な提示を可能とするスマートフォン学習教材の開発と試行
- ブレンド型初修外国語授業を対象とした探索的学習分析システムの開発
- カスタム機械学習モデルを用いた振り返り記述内容の分類とその活用方法の提案
- 拡張性を有する学習支援システムアーキテクチャに基づく分散マルチプラットフォーム学習環境の検討と試作

- リスクアセスメント情報を活用した判断基準共有のための模擬インシデント訓練システム
- 他者のヒヤリハット体験を用いた経験学習による登山者の主体的な学びの支援
- 教授設計理論を包含した初学者向け学習設計支援手法
- 決策提案力向上を目的とした授業デザインの設計 ～認知症徘徊模擬訓練を通して～
- 反転学習を導入した意思決型学習による公民としての資質・能力の育成
- プログラミング的思考型学習支援システムの開発
- PPL システムにおける演習問題生成機能の開発
- デジタル・ティンカリング教材「YubiTus」の開発
- ビジュアルプログラミングの評価支援システムの開発
- コミュニケーションロボットや VR などをきっかけとして学ぶ医学部生向け教養教育の授業デザインとその実施事例

2018 年度学生研究発表会発表開催案内（最終報）

担当者：　人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を下記の通り開催します.（発表申し込みは 1 月 28 日で締切っております）

開催地区 開催都市	開催場所・開催日 各地区受付窓口メールアドレス
北海道 千歳市	千歳科学技術大学・2019 年 3 月 6 日（水） 小松川 浩（千歳科学技術大学）hiroshi@photon.chitose.ac.jp
北信越 金沢市	しいのき迎賓館・2019 年 3 月 5 日（火） 長谷川 忍（北陸先端科学技術大学院大学）、森 祥寛（金沢大学） hse-submit@jsise.org
関東 湯河原町	ホテルあかね・2019 年 3 月 4 日（月）～5 日（火）（合宿形式） 山本 樹（創価大学） jsise-kanto-sub@jsise.org
東海 名古屋市	愛知県立大学サテライトキャンパス（名古屋駅前）・2019 年 3 月 7 日（木） 吉根 勝美（南山大学）kyoshine@nanzan-u.ac.jp
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス・2019 年 2 月 28 日（木） 河野 稔（兵庫大学）kawano@hyogo-dai.ac.jp（ポスターあり）
中国 広島市	広島市立大学サテライトキャンパス・2019 年 3 月 2 日（土） 岩根 典之（広島市立大学） iwane@hiroshima-cu.ac.jp（ポスターあり）
四国 鳴門市	鳴門教育大学・2019 年 3 月 14 日（木） 光原 弘幸（徳島大学） mituhara@is.tokushima-u.ac.jp
九州 大分市	J:COM ホルトホール大分・2019 年 3 月 9 日（土） 坪倉 篤志（日本文理大学） tsubokura@nbu.ac.jp
沖縄 那覇市	琉球大学・2019 年 2 月 28 日（木） 谷口 祐治（琉球大学） taniguchi@cc.u-ryukyu.ac.jp

スケジュールの最新情報は，学会ウェブページにて更新していきます．ご不明な点は、発表希望地区の受付窓口にご確認ください.

学会誌特集号論文募集

担当者：　学会誌編集委員会委員長 小西 達裕（静岡大学）

「人工知能，IoT がもたらす新たな学習・教育・管理の促進」
論文投稿締切：2019 年 6 月 3 日
2020 年 4 月 1 日 発行予定

人工知能や IoT の新しい技術は，社会の様々な分野で革新をもたらしつつあります．人工知能技術は，人の膨大な量の学習記録から機械的に特徴を見出すことで，これまでの常識を超える知見を提示しています．また，ネットワークに接続するデバイスの活用は，これまでには実現できなかった新しいサービスを創出しています．こうした社会への大きなインパクトは，教育システム情報学の領域においても，これまでにない発想による新しい学び方，新しい教え方，新しい教育の管理をもたらすと期待を集めています．本特集号は，「人工知能，IoT がもたらす新たな学習・教育・管理の促進」に関する研究論文を募り，新しい教育システム情報学の知識構築を目指します．

１．対象分野

人工知能，IoT 技術を駆使する，人の学習に関する研究，人の教育に関する研究，教育管理に関する研究を募集します．機械学習やビッグデータ，データマイニング，ロボットを活用・応用する研究や，IoT を駆使する研究，ラーニング・アナリティクス，学習・教育の調査・分析・予測，学習・教育の管理，教育の IR です．これらキーワードの周辺を含め広く募ります．

２．論文種別

すべての種別（一般論文，実践論文，ショートノート，実践速報）の論文を募集します．なお，査読を通して，異なる種別での採録となる場合があります．

また，内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります．

３．投稿要領

学会誌原稿執筆要領に準じます．詳細は学会 Web ページをご確認ください．

投稿の際は，次の点にご注意ください．

- 「投稿種別」について「特集号」を選択ください．
- 特集論文研究会で発表された方は，投稿情報入力の際，「事務局への連絡事項」の欄に，特集論文研究会の発表題目，発表番号を記入下さい．
- 英文で投稿される場合は，本学会英文誌へ投稿ください．

４．スケジュール

論文投稿締切：　2019 年 6 月 3 日（月）
採録通知予定：　2019 年 11 月初旬頃
学会誌掲載：　学会誌 Vol.37, No.2, 2020 年 4 月 1 日発行予定

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します．是非，ご発表・ご参加ください．詳細は開催案内をご覧ください．

特集論文研究会：　2019 年 3 月 16 日（土）
会　　場：　武蔵野大学 有明キャンパス 1 号館，3 号館
（〒135-8181　東京都江東区有明三丁目３番３号）
発表申込締切：　2019 年 1 月 21 日（月）
原稿提出締切：　2019 年 2 月 7 日（木）

５．編集委員

委員長：　小西 達裕（静岡大学），委員： 学会誌編集委員

６．問い合わせ

全　般：　松田 憲幸（和歌山大学）
E-mail: matsuda@sys.wakayama-u.ac.jp
Web投稿：　編集事務局
電話：　03-5389-6492
E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075　東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献社 長澤

研究会報告年間購読の申し込みについて

研究報告は，2016 年度からは印刷媒体での研究報告は廃止し，オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように，研究報告を電子化しています．保管などの手間もなく，大変便利に活用できるようになっております．

是非，研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです．研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが，年間購読がお得となっております．

・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回，特集研究会 1 回，計 7 回分を含む)
・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては，年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします．以下の手順でお申し込みください．すでに年間購読をしていただいている方は手続き不要です．

1) 年会費納入手続きの前に，下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください．

==========
※研究報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
==========

2) 手続き終了後，事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます．
3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください．

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は，事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください．年間購読の請求書をお送りし，会員種別変更の手続きを進めさせていただきます．

教育システム情報学会研究会における
不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は，教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して，学会の発展，ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています．さらに，専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため，若手研究者の発掘や育成，今後社会に出る学生の教育の場としても，研究会の重要性は非常に大きくなっています．

こうした研究会においては，様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です．一方で，意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して，研究方法や研究分野，さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い，発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません．こうした問題が放置されると，研究会への参加だけでなく，学会活動全般，さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします．

教育システム情報学会研究会においては，意図の有無に関わらず，正当な根拠なく相手に不利益を与え，相手の尊厳を侵害する行為があった場合に，研究会担当委員および座長担当者が，質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています．研究会の参加者だけでなく，研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し，研究分野のさらなる発展と，これを通じた社会貢献を行うために，研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします．

東海支部より活動報告

［講演会］

■日時：2018 年 12 月 1 日(土) 14:00～17:00

■会場：名古屋都市センター14 階　第 4 会議室

■共催：日本リメディアル教育学会（JADE）東海・北陸支部

座長：津森伸一先生（聖隷クリストファー大学）

〈講演 1〉

■講師：マイヤー・オリバー 先生（愛知教育大学）

演題：「大学における初習外国語教育」

日本とドイツにおける外国語教育の比較からドイツにおける英語活用力の現状について紹介された。また、日本の大学における外国語教育の問題点を提起して、外国語教育の未来ついて検討された。

〈講演 2〉

■講師：村本麻衣 先生（名古屋大学非常勤講師）

演題：「ドイツ語教育でのデジタルメディアの活用」

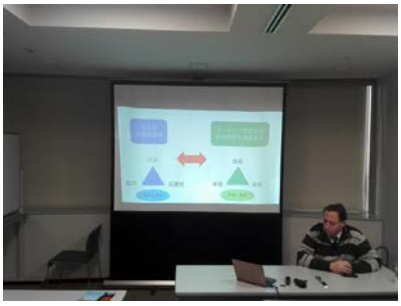
大学一般教養としてのドイツ語授業における課題と授業が紹介された。学生の興味関心を高め、継続的に学ばせるために利用しているツールを使い聴講者も体験しながらディスカッションが進められた。

〈講演 3〉

■講師：吉岡貴芳 先生（豊田工業高等専門学校）

演題：「工学系学生の英語運用能力を改善した英文多読授業」

豊田高専における英語教育の教育課程編成と英文多読の取り組みについて紹介された。また、新課程編成後に学生の英語力が向上している様子が紹介された。



マイヤー・オリバー 先生

村本麻衣 先生

吉岡貴芳 先生

Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より，全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました．本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております．本学会へのご質問・お問い合わせは，学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします．また，Facebook アカウントとの連携も行っており，Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので，ぜひご活用（フォロー）ください．

https://twitter.com/JsisePr

✧　2019 年 1 月 25 日現在，フォロワー数 222 アカウント

Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています．本ページでは，

・論文・発表募集

・本学会に関連するイベントの情報

などを，いち早くお届けします．ぜひ，ご覧下さい．

Facebook ユーザの方は，ぜひ，「いいね」をお願いいたします．

https://www.facebook.com/jsise.org/

✧　2019 年 1 月 25 日現在，いいね 352 件，372 人フォロー

他団体　協賛・後援イベントのお知らせ

協賛　「シンポジウム「モバイル’19」」

日時：2019 年 3 月 8 日（金）

会場：産業技術総合研究所　臨海副都心センター

URL：https://goo.gl/3rrVRA

会費納入のお願い

会費納入についてのお願いです．学会の活動は皆様の会費で支えられていますので，2018 年度会費未納の方はご協力のほどどうぞよろしくお願いします．なお，2 月上旬に 2019 年度会費納入のお願いをメールでお送りしますので，合わせてお願いします．

「クレジット決済」，「コンビニ決済」をご希望の方は，下記のマイページよりお手続をお願いいたします．

URL　https://bunken.org/jsise/mypage/Login

※会員専用ページの URL は，会員情報管理システムの業務委託をしている
株式会社国際文献社のものです．

- 「銀行振込」をご希望の方は，下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします．

■振込先

◆ゆうちょ銀行
口座記号番号： 00180-6-709632
加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会
フリガナ： シャ）キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合
銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）
店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店）　預金種別：当座　口座番号：0709632
名義：一般社団法人教育システム情報学会
フリガナ： シャ）キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）
店名： 上新庄支店（カミシンジョウ支店）
預金種別：普通　口座番号：0142708
名義：一般社団法人教育システム情報学会
フリガナ： シャ）キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）
店名：茨木 支店（イバラキ支店）
預金種別：普通　口座番号：1399483
名義： 一般社団法人教育システム情報学会
フリガナ： シャ）キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は，マイページでオンライン発行できます．
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は，事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください．

※団体名でお振込みいただきますと，個人を特定できない場合がございますので，振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか，難しい場合は，振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです．
※所属が変わった方は，マイページにログインした際に，連絡先などを変更するようお願いいたします．

【2018 年度あるいはそれ以前の会費を支払われていない方】

マイページでは，全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます．先に 2018 年度以前の分のお支払いを希望される方は，先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか，学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい．

※会費のお支払いが確認できない場合，学会からの送付物を停止させていただく場合があります．また，定款の定めに従って除名手続きを進めさせていただく場合があります．

ご不明な点は，事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい．

〒162-0801　東京都新宿区山吹町 358-5　アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376　Fax:03-5227-8631　Email：secretariat@jsise.org

事務局より

会員専用ページのご案内

URL：https://bunken.org/jsise/mypage/Login

※会員専用ページの URL は，会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです．

■会員専用ページでは，以下のことができます．

1. 会員個人ページでの，現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入，クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別，フリガナ，研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので，お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡をお願い致します．

ログインには， ID とパスワードが必要です．

パスワードをお忘れになった場合は，上記ウェブサイトにて照会できます．何かご不明な点がございましたら，JSiSE 事務局会員窓口（secretariat@jsise.org）までご連絡ください．

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど，何卒よろしくお願い申し上げます．

入会のご案内

入会をご希望の方は，下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき，お申し込みをお願いいたします．

URL：http://www.jsise.org/admission/index.html

☆キャンペーン☆

※現在，本学会開催の研究会等で，会場にて新規お申し込みいただいた方には，入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております．
そちらも，合わせてご案内いただきますようお願いいたします．

新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました．　2018 年 9 月 23 日～2019 年 1 月 22 日

会員名	会員種別	会員名	会員種別
陳　輝	正会員	藤野　ユリ子	正会員
小林　大介	正会員	楊　蕊寧	学生会員

（計 4 名）